

研究室 からの メッセージ 172

Data(2020年3月現在)

所在地 〒324-0011 栃木県大田原市北金丸2600-1
スタッフ 野呂千鶴子(教授), 降旗幹子(准教授),
 桑野美夏子(助教), 石澤正彦(助手)
URL otawara.iuhw.ac.jp/gakubu/kango/index.html

左から, 石澤, 降旗, 野呂, 桑野



国際医療福祉大学 公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

国際医療福祉大学は、「日本初の医療福祉の総合大学」として1995年に栃木県大田原市に開学し、今年で25周年を迎えます。保健医療学部看護学科は開学時に設置されましたが、現在では、成田・小田原・福岡にも看護学科を有しています。

本学科における保健師教育は、2010年度入学生までは保健師看護師統合カリキュラムに基づく教育でしたが、それ以降の入学生からは保健師選抜選抜制(定員60名)を導入し、2年次後期に選抜試験を行っています。

新卒で保健師になるのは毎年数名ですが、看護師で就職後、保健師に転職する卒業生も多いのが現状です。4年次には県内健康福祉センター(保健所)や市町保健センターで公衆衛生看護学実習を行っていますが、その際に「卒業生です」と声を掛けてくださる方も多く、中堅保健師として活躍している姿は頼もしい限りです。

Education

どのような教育をしていますか？

本学は「共に生きる社会の実現」を目指し、特長ある教育を実践しています。中でも「チーム医療・チームケア」を中心課題とした関連職種連携教育は、大田原キャンパスが中心となり進めているものです。大田原キャンパスでは3学部8学科で複数の医療福祉分野の専門職を養成する強みを活かし、2・3年次に「関連職種連携論」「関連職種連携ワー

ク」を全員必修、4年次に「関連職種連携実習」を選択科目としています。実習では、医療機関・施設および地域で関連職種連携を展開しますが、特に保健師課程の学生は「基幹型地域支援センター」の主要メンバーの一人として、生活者主体の「チームケア」の在り方について考え、提案することができています。

これらの教育実践は、保健師課程の学生が地域特性を捉えた看護展開を考える時や「連携」「ネットワークの構築」を学ぶ上で活かされていると言えます。

Research

どのような研究をしていますか？

公衆衛生看護学領域の教員で、被災を経験した壮年期住民の被災後のPTG(心的外傷後成長)に着目した学内研究を進めています。また、野呂は「生活環境に着目した研究」、降旗は「公衆衛生看護の機能に関する研究」、桑野は「地域・在宅看護の在り方に関する研究」、石澤は「保健行動の変容に関する研究」に取り組んでいます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

開学時から、栃木県内複数の市町や保健所、さらに栃木県看護協会と連携し、地域の健康課題解決に向けた取り組みを展開してきました。地域貢献や研究を通して、本学はこの地域に育てていただいたと言っても過言ではないと思っています。地域の保健師さんとともに活動実践は、私たちにとって楽しくやりがいのあるものになっています。

ひとこと

栃木県東北地域にある本学は、自然豊かで広大なキャンパスを有しています。キャンパス内では遠隔授業を駆使した大学院も設置しており、多くの院生が学んでいます。その中で、私たち教員も教育・研究活動の充実を目指し、研鑽を積んでいるところです。皆さまの日々の業務での疑問や課題の解決について、共に考え、取り組むことができればと考えています。お気軽にお声をお掛けください。

野呂

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場して下さる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp